



KIRIN

麒麟ビール株式会社

キリングループの国内酒類事業の中核として、ビール、発泡酒、チューハイ、焼酎、ウイスキー、さらにノンアルコール飲料といった新ジャンルなど、総合的な酒類の製造・販売を行う。「麒麟 一番搾り生ビール」「淡麗グリーンラベル」「麒麟 のどごし<生>」「麒麟 氷結」など幅広いブランドを展開し、飲料のリーディングカンパニーを目指す。本社は東京都中野区。

導入製品

- Adobe Stock エンタープライズ版



麒麟ビール株式会社
首都圏営業推進支社 業務部
中田 真也子 氏

麒麟ビール株式会社

Adobe Stockエンタープライズ版導入事例

豊富なストック素材を活用し、業務用販促ツールの制作スピードとクオリティを向上

ビール、発泡酒、チューハイ、洋酒など、幅広い商品ラインナップを取り揃え、確固たるリーディングカンパニーを目指す麒麟ビール株式会社。同社では、飲食店で使用されるメニューやPOPなどの業務用販促ツールを全国一律に展開してきたが、近年多様化する店舗のニーズにきめ細かく対応するため、各エリアごとでツールの制作を内製化、首都圏だけでも年間5,000点ものツールを制作している。

ツールの制作には、商品のイメージや店舗のニーズに合った写真、イラストが使用されるが、使える素材の数が圧倒的に不足しており、同じ素材の使い回しによるデザインのマンネリ化に陥っていた。そうした課題を解決するため、Adobe Stock エンタープライズ版を導入。膨大な数の素材の中から使いたい画像を迅速に見つけ出せるようになり、制作スピードとクオリティの大幅な向上を実現している。

導入メリット

全社利用で、素材1点あたりのコストを大幅削減



企業内のユーザー数、および印刷部数も無制限に利用可能

素材の検索時間を大幅に短縮



これまで何時間もかかっていた素材の検索がわずか数分で完了

多様化する顧客のニーズにきめ細かく対応



高品質で豊富な素材を活用し、デザインのバリエーションとクオリティがアップ

全社的に素材の利用が拡大



PowerPoint プレゼンテーションでも活用し、営業部門にも展開

■ 使いたい素材が使えない、見つからないジレンマ

同社の首都圏営業推進支社 業務部は、レストラン、バー、居酒屋など、首都圏で展開する飲食店への営業活動をサポートする部門だ。そのサポートの一環として、店舗で使用されるメニューやチラシ、POPなどの業務用販促ツールを制作しており、それらはすべて内製で行っている。

「10年くらい前までは、そうしたツールは本社のほうで一括して制作し、全国の営業部門に回していたんですが、お客様のニーズがどんどん多様化していくなかで、同じようなツールを何年も使いまわしていくのには限界を感じていました。お客様からは、ここをもう少しこうしてほしい、もっと違うものが見てみたい、といったご意見を数多く寄せられるようになっていました。それであれば、個々のお客様のニーズをきめ細かく反映させたツールを制作していこうということで新設されたのが、私たちの部署です」と、同部署で管理業務を行っている中田 真也子 氏は語る。

同部署が制作するツールは、年間で約5,000点にも及ぶという。ツールの種類や商品ごとにある程度のひな型を作り、季節や地域の特徴などに応じてデザインにアレンジを加えている。そこで重要になってくるのが、写真やイラストなどの素材選びだ。背景画像を変えるだけで、あるいはちょっとしたイラストを加えるだけで、デザインの印象は大きく変わってくる。また素材の良し悪しが、そのままデザインの品質に直結することもある。同社は以前まで、CD-ROMに収録された素材集を購入し、その中から使えそうなものを選んで使用していた。同部署で制作を担当している藤倉 理佐子 氏は、素材の利用について次のように話す。

「CDの素材集はとにかく点数が少なく、結局同じものを何度も使い回してしまいます。CD1枚がだいたい4~6千円するのですが、その中で本当に使える素材は5~6枚ほどで、コスト的にもだいぶ無駄が出ていました。また、使いたい素材を探すときは、冊子に載っているサムネイルを見て、番号を控えて、CDから落とすということやっていたので、かなり面倒でしたね」。



麒麟ビール株式会社
首都圏営業推進支社 制作部
藤倉 理佐子 氏



メニューやPOPなどの業務用販促ツールは、季節や地域、店舗のニーズなどに応じてAdobe Stockの豊富な写真やイラスト素材が活用されている。

■ CD素材集からオンラインのストックフォトサービスへの移行

そうした中、2017年4月に新商品のノンアルコール飲料を発売するにあたり、営業部門からPOP制作の依頼が入った。同部署でひな型を作成し、それを全国で展開するということだった。

「温泉をテーマにしたビジュアルで作って欲しいという要望があり、まずは温泉の画像を探るところから始めたのですが、CD素材ではなかなか満足のものが見つからなくて。それで試しにオンラインのストックフォトサービスを検索してみたのですが、まさにイメージ通りの画像が見つかったんです。そのストックフォトサービスというのが、Adobe Stockでした」（中田氏）

同社ではそれまで、オンラインで素材を入手することを禁止されていた。個々のコンピューターに素材をダウンロードするため、管理が煩雑になりやすいことと、著作権などのトラブルが生じる可能性があるという点が大きな理由だ。それでも中田氏は、どうしてもその画像を使用したかったため、Adobe Stockを詳細に調べ、本社と交渉するための材料を集めた。

「アドビが運営するサービスなので信頼性は高い、管理もしっかりできる、著作権に関しても心配はない、という点を訴求しました。ただ、問題だったのがコスト。全国展開の規模を考えると、通常のライセンスでは利用制限範囲を超えてしまう可能性があり、無制限に利用できる拡張ライセンスを購入する必要がありました。そうすると、1枚あたりの単価がどうしても高くなり、なかなか受け入れてもらえませんでした」

そこで中田氏は、アドビ問い合わせ窓口（電話：0120-613-884）に相談してみたところ、Adobe Stock エンタープライズ版を勧められたという。単一部署での利用よりも、全社的な利用を考えれば、1枚あたりのコストはかなり低くなる。また、プラン内で通常ライセンスと同様に拡張ライセンスも使用できるなど、コスト面での説得材料も十分揃った。

「素材を欲しがっている部署はここだけでなく、全国にあります。全国の部署でこれだけ使えて、この値段だったら、ということで採用が決まりました。他のサービスと比べても、Adobe Stockは破格でした」

■ 日本向け素材も豊富に揃うAdobe Stock。高い検索性で、作業効率もアップ

2017年7月に本格稼働したAdobe Stockは、当初の予想どおり、全国での活用度は日増しに上がっているという。導入後の感想として、中田氏は、数千万点を超える素材の点数の多さもさることながら、日本向けの素材が充実している点をあげた。

「初めは、海外が元のサービスなので、日本向けの素材は弱いのではないかと思っていたのですが、実際に検索してみたら、日本の他のサービスと比べても遜色はありませんでした。当社では『47都道府県の一歩搾り』として地域に合わせた47種類のビールを展開しているのですが、販促ツールとしても、その土地の風景や料理と合わせたビジュアルを作って欲しいという要望が非常に多いのです。先にお話した温泉の画像もそうなのですが、Adobe Stockには日本のPOPにも使いやすいものがたくさんあると感じました」

また、藤倉氏は、制作業務におけるメリットとして、Adobe Stockの検索性の高さをあげた。

「素材探しはだいぶ楽になりましたね。今のところ欲しい画像はほぼ見つかっていますし、だいたい1ページ目か2ページ目ですぐ見つかります。探す時間が短縮されたというのもそうなのですが、『探そう』っていう気が出るようになりました。以前は探してもないだろうなってすぐあきらめていたんですが、Adobe Stockならまだなにかあるだろう、もっと見つかるだろうと思って。最近では、画像を使ってさらに他の画像を探せる機能や、色味などで検索を絞り込める機能なども出てきて、すごくワクワクしています」

■ PowerPointとの連携機能により、業務のさらなる効率化を目指す

同部署では、POPやメニューの作成に、Microsoft PowerPointを使用している。作成したひな型に、営業がPowerPointを使って各店舗の独自の情報を加えるため、互換性を保つ必要がある。Adobe Stockでは、PowerPoint向けのアドインが用意されており、それをインストールすると、PowerPoint内でAdobe Stockを開き、素材の検索から購入までを行えることができる。中田氏は、今後の展望について次のように語った。

「今まで営業は、値段や日付の変更くらいのことしかできず、画像の差し替えとかになると、どうしても制作の手を借りなければなりません。でもこれからは、自分で素材を探してその場で差し替えることもできます。簡単に編集できるひな型を作っておけば、そのまま自分で作ってお客様に持っていけるようにもなりますね。そうすれば、営業も私たちの部署も、お互いに効率よく業務を行えるようになると思います」

同部署に限らず、全国で制作されている販促ツールの数は年々増え続けており、求められるスピードとクオリティもより高いものになっている。素材の点数が1億を超え、今後もさらに進化を続けるAdobe Stockに、中田氏を始めとする制作スタッフが寄せる期待は大きい。

※掲載された情報は2017年10月現在のもです。

Adobe, the Adobe logo, and Adobe Stock are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
© 2017 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe Stockエンタープライズ版に関するお問い合わせ

弊社営業担当、または下記フリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。
0120-613-884



アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.com/jp/
Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com